



佐倉市立間野台小学校5年生によりアサザが印旛沼へお里帰り！！

～子供たちの手で初めて「お里帰り」が実現しました～

昨年度5年生が、学校池を黄色いアサザで一杯にしたいと、池を整備してくれたが雑草で埋まっていた池の半分は水が溜まらないことが判明しました。

今年度は先生から子供が「自分達の手でお里帰りをしたい」という目標であると聞き実行に向けて行動を起こしました。

印旛沼本体（ふるさと広場水草園）に移植するには管理する印旛土木事務所に許可をもらう必要があり、連絡したところ TEIRE（手入れ）プロジェクト第1弾として実施したらどうかと嬉しい提案を頂きました。

お里帰りの様子（次ページ写真をご覧ください）

① 9月27日千葉興銀が事前準備として、黒いオケに土を入れ、水草園内の外来植物除去を行いました。

② 10月2日間野台小学校5年生（79人）が4グループに分かれて各々が体験。

A：胴長を着て移植した。B：植木鉢にインバモとイヌタヌキモを植え付け、黒いオケに沈めた。C：黒いオケに絵を描いた。

子供からは、印旛沼水質浄化と在来水草の保全への思いを込めたポスターとメッセージが贈呈され、D：メッセージは、ふるさと広場掲示板に貼る作業をした。

E：ポスターはラミネート加工して舟戸かっぱ公園の掲示板に展示中です。

黒いオケは完成して「印旛沼モグリウム」と名付けました。

モグリウムとは・・・モク（モグ）は、沈水植物の事⇒葉を水中に広げる水草

リウムは、ラテン語のアリウム（ariumu）から「～につながる物や場所」例えばブラネタリウム・アクアリウムなど

TEIRE（手入れ）プロジェクトとは T：TRIAL（試み）

E：ENVIRONMENT（環境）

I：INBANUMA（印旛沼）

R：RECREATION（レクリエーション）

E：EXPERIENCE（体験）

本事業に関して千葉県からはオケ・胴長等を、関係団体の方からは多くのアドバイスをいただき感謝申し上げます。

TEIREプロジェクト



6月19日 間野台小学校
出前授業



9月27日 外来植物除去とモグリウムに砂入れをする
千葉興銀の皆さん



10月2日 印旛沼にお里帰りを実現させました（ふるさと広場水草園にて）



印旛沼にアサガを移植する児童



インバモ・イヌタヌキモを
植えた印旛沼モグリウム



ペイントする班とメッセージを
貼る班の児童



ふるさと広場のそばに設置した印旛沼モグリウム



佐倉市産業大博覧会で展示した子供たちが描いたポスター
(11月8~9日)